



研究協議

公開授業のあとは、教科ごとに、あらかじめ設定された題にもとづいて研究協議を行いました。授業をどうやって「自分事」にしていくか、などについて熱心な議論が行われました。

講演

岡山大学教師教育開発センター 教授・副センター長
高旗 浩志 先生
演題「学習する集団を育む授業づくりのために」

研究協議の後、高旗先生による講演が行われました。

これから求められる授業は「意欲の差をつくらない授業」「安心して聞き合える、分かったフリをさせない授業」「教え込むのではなく、学び取らせる授業」であり、そのためには「質の良い課題」を設定することが必要であると述べられました。

分かったフリをさせないためには、「どう分からぬいか」を中途半端に表現させることなど、方法論についても言及されました。



「学び取らせる授業」をつくるのために必要なこととして、講演では、以下のような視点をもとにお話がありました。

- (1) 見通しをもたせる
- (2) 「個の自力解決」の時間を確保する
- (3) 考えたことを交流する
- (4) まとめとふりかえり
- (5) 家庭学習と授業をつなぐ



様々な示唆に富んだ貴重な講演でした。
ありがとうございました。